

ウッドデザイン賞

2015を

振り返る

ウッドデザイン賞2015は第1回の開催にも関わらず、総応募数822点、受賞数397点という成果をあげることができました。2015年9月1日から応募受付を開始、多くの反響をいただき、10月7日まで期間を延長しました。その後、書類による第一次審査を経て、第二次審査の実施と入賞（ウッドデザイン賞）の発表、さらに最終審査によって最優秀賞、優秀賞、奨励賞が選ばれました。上位賞の発表、表彰式とともに受賞作品の展示、審査委員によるシンポジウムの開催、その後の交流会と、新たな木づかいに取り組みむ多くの方々が親交を深め、それぞれの思いに触れることができました。ここでは、ウッドデザイン賞2015実施の様子を写真とともに振り返ります。

審査会の様子

第二次審査では、木製品等の現物を始め、パネルや写真などの多くのプレゼンテーション資料に囲まれ、各分野の気鋭の審査委員が真剣な眼差しで討議、審査を行いました。審査会場となった「木材会館」（東京木材問屋協同組合様、東京都江東区新木場）檜ホールは、空間の素晴らしさとともに、木の香りでいっぱいになりました。審査は長時間に及び、熱い議論が交わされました。



発表・表彰式

最終審査を経て選ばれた最優秀賞（1点）、優秀賞（9点）、奨励賞（30点）の発表及び表彰式が、12月10日、日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ2015」のイベントステージにおいて行なわれました。表彰式では、今井敏林野庁長官、吉条良明全国木材協同組合連合会会長のご臨席を賜わり、受賞された40団体の受賞者に賞状が授与されました。初のウッドデザイン賞の上位賞に選出された皆さんは一様に笑顔で、写真に収まっていた姿が印象的でした。



ライフスタイルデザイン部門優秀賞の皆さん

最優秀賞・西栗倉・森の学校様

今井敬様



ソーシャルデザイン部門優秀賞の皆さん

ハートフルデザイン部門優秀賞の皆さん

吉条良明様

赤池審査委員長

シンポジウム & 交流会

表彰式後、東京ビッグサイトのレセプションホールにおいて、「ウッドデザイン賞2015シンポジウム」が開催されました。審査委員による賞の総括と今後の期待について意見交換が行なわれ、とても示唆に富むものでした。詳細は8ページ。その後、受賞者、関係者、審査委員を交えた交流会が催され、お互いの取組や製品開発などについて熱く語り合っていました。



受賞作品展示

「エコプロダクツ2015」では、「ウッドデザイン賞2015特設ブース」を設置し、受賞作品全点のパネル展示と木製品の一部を実物展示しました。期間中、大変多くの来場者が訪れ、作品に熱心に見入ったり、メモをとっている光景が頻繁に見られました。



展示施工協力：乃村工藝社
撮影者：工藤 明敏(上2点)

広報・PR活動

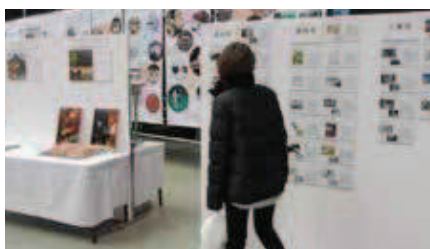
各種イベント、展示会、勉強会等でウッドデザイン賞の趣旨や受賞作品の紹介を実施しています。次回開催へ向けて、評価されたポイントやプレゼンテーションの事例など参考にしていただいています。今後も各地域や団体と協働してウッドデザイン賞の普及啓発に努めていく予定です。



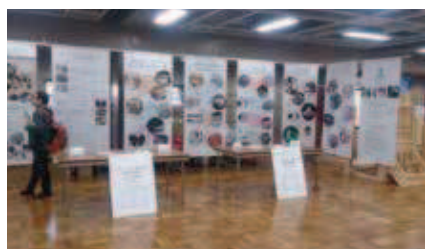
「木と住まいの大博覧会」(ナイス、木と住まい研究協会)様



「ロフト東京ソラマチ店」様



「ハッピーママフェスタ2016」様



「ウッドコレクション(モクコレ)2016」(長野県・岐阜県・東京都)様